

お客様各位

### 弊社市乳工場に関する厚生省専門評価会議の結果について

このたびの、大阪工場低脂肪乳品質事故からの一連の事件に関しまして、お客様には多大なご迷惑をおかけしたことを心よりお詫び申し上げます。

本日、厚生省から「第2回雪印乳業(株)乳処理施設の現地調査に関する専門評価会議の結果について」ご連絡を頂戴いたしました。

専門評価会議のご検討結果では、弊社10工場(札幌、青森、野田、東京、厚木、名古屋、京都、神戸、広島、福岡)について、食品衛生上の重大な問題はなかったとご確認いただきました。

ただし、操業再開にあたっては6項目のご指摘、ご指導をいただいております。

弊社では、これらの点を真摯に受け止め、早急に対応させていただきますとともに、今後10工場の操業再開に向けまして、徹底した品質管理、安全管理に取り組んでまいります。

平成12年7月25日

雪印乳業株式会社

お客様各位

## 弊社市乳工場の操業再開に関するお知らせ

このたびの、大阪工場低脂肪乳品質事故からの一連の事件に関しまして、お客様には多大なご迷惑をおかけしたことを心よりお詫び申し上げます。

7月25日に開催されました「第2回雪印乳業(株)乳処理施設の現地調査に関する専門評価会議」において10工場(札幌、青森、野田、東京、厚木、名古屋、京都、神戸、広島、福岡)については食品衛生上の重大な問題がなかったことが確認されております。

同会議の指示事項に基づきまして、確約書を提出し、本日受理されました。弊社では、このたびの操業再開を厳粛に受け止めており、二度とこうした事件を起こさぬよう万全の体制で生産再開に臨んでまいります。

1. 現在経営が大変厳しい状況にあります牛乳販売店様への商品供給を最優先させるべく、瓶商品から生産を開始いたします。
2. 瓶商品から生産を開始する工場ならびに生産開始予定は次の通りです。

工場名	生産開始予定日
東京工場	7月28日(金)
名古屋工場	7月27日(木)
神戸工場	7月29日(土)
福岡工場	7月28日(金)
青森工場	7月29日(土)

※出荷開始は、生産開始日の翌日を予定しております。

3. 札幌工場は、病院などの特需先様向け商品や牛乳販売店様向け商品を中心に7月28日(金)より生産を開始する予定です。

4. 他工場につきましては、決定次第、順次ご案内いたします。

平成12年7月26日

雪印乳業株式会社

お客様各位

## 弊社市乳工場の操業再開に関するお知らせ

### 第2報

このたびの、大阪工場低脂肪乳品質事故からの一連の事件に関しまして、お客様には多大なご迷惑をおかけしたことを心よりお詫び申し上げます。

7月25日の「第2回雪印乳業(株)乳処理施設の現地調査に関する専門評価会議」において公表された結果を受け、食品衛生上の重大な問題がなかったことが確認されました下記10工場、宅配向け商品(瓶商品)の操業開始に続き、一般向け商品の操業を本日より、順次再開いたします。当該工場の生産開始予定は次の通りです。

工場名	宅配向け商品(瓶商品) 生産開始予定日	一般向け商品 生産開始予定日
札幌工場	—	7月28日(金)
青森工場	7月29日(土)	7月30日(日)
野田工場	—	7月30日(日)
東京工場	7月28日(金)	7月30日(日)
厚木工場	—	7月30日(日)
名古屋工場	開始済(7/27)	7月29日(土)
京都工場	—	7月29日以降
神戸工場	7月29日(土)	7月29日(土)
広島工場	—	7月29日(土)
福岡工場	7月28日(金)	7月29日(土)

※出荷開始は、生産開始日の翌日を予定しております。

平成12年7月27日

雪印乳業株式会社

お客様各位

### 弊社取締役の異動について

このたびの、大阪工場低脂肪乳品質事故からの一連の事件に関しまして、お客様には多大なご迷惑をおかけしたことを心よりお詫び申し上げます。

本日7月28日の取締役会において弊社取締役の異動を決定しましたのでご報告致します。

執行体制につきましては、当初9月末に変更を予定しておりましたが、弊社代表取締役社長石川の病気入院による経営の空白を解消すること、及び今後社会的責任を全うすることが急務と判断し、本日より新執行体制にて再出発させていただくこととなりました。

弊社は現在、被害にあわれた皆様へのお詫びとお見舞いに全力を傾注させていただいておりますが、今後、お客様の信頼回復に向け全力で取り組んでいく所存でございますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

#### 1. 役員の異動

役職名		氏名	担当業務
(新)	(旧)		
代表取締役社長	常務取締役	西 紘平	経営全般・経営企画室担当・第二事業本部長
代表取締役専務	専務取締役	遠藤 敏明	人事部担当・生産技術本部長・第一事業本部長 研究本部長・北海道支社長
常務取締役	常務取締役	岡田 晴彦	財務部・総務部・広報部・法務部・監査部担当

取締役	取締役	根本 暘	中部支社長 兼 中部統括支店長
取締役	取締役	高藤 慎一	研究本部副本部長
取締役	取締役	横澤由喜朗	営業推進本部長・広域営業促進部長
取締役	常務取締役	山口 靖孝	特命事項
取締役	取締役	若井由太郎	生産技術部長
取締役	取締役	竹内 良種	秘書室担当・経営企画室長
取締役	取締役	片山 信夫	品質保証部担当・乳食品生産部長
取締役	取締役	吉田 升三	東日本支社長
取締役	取締役	仁木 弘	医薬品本部長 兼 医薬品部長
取締役	取締役	竹之内英毅	西日本支社長
取締役	取締役	山口 次男	情報システム部担当・財務部長
取締役	取締役	平石 英皓	人事部長
常勤監査役	常勤監査役	温泉 和也	
常勤監査役	常勤監査役	柳井 稔	
監査役	監査役	伊東 孝	(社外監査役)
監査役	監査役	平尾 和義	(社外監査役)

## 2. 退任する役員

退任前の役職	氏 名
代表取締役社長	石川 哲郎
代表取締役副社長	笹島 昭彦
専務取締役	相馬 弘
専務取締役	三澤 芳憲
専務取締役	赤羽 要
常務取締役	須永 靖夫
取締役	中島 正宏
取締役	千葉 正兄

平成12年7月28日

雪印乳業株式会社

お客様各位

### 弊社市乳工場に関する厚生省専門評価会議の結果について

このたびの、大阪工場低脂肪乳品質事故からの一連の事件に関しまして、お客様には多大なご迷惑をおかけしたことを心よりお詫び申し上げます。

本日、厚生省から「第3回雪印乳業(株)乳処理施設の現地調査に関する専門評価会議」の結果についてご連絡を頂戴いたしました。

専門評価会議のご検討結果では、7月25日の10工場に引き続き、残り10工場（花巻、仙台、新潟、日野、静岡、愛知、北陸、倉敷、高松、都城）についても、食品衛生上の重大な問題はなかったとご確認いただきました。

ただし、操業再開にあたっては、前回の6項目に加え、2項目のご指摘、ご指導をいただいております。

弊社では、これらの点を真摯に受け止め、早急に対応させていただきますとともに、今後当該10工場の操業再開に向けまして、徹底した品質管理、安全管理に取り組んでまいります。

なお、工場別の操業再開日程につきましては、決定次第順次ご案内申し上げます。

#### 【参考】厚生省専門評価会議検討結果における指示事項

- (1) 「調整乳」の取扱いについて、作業工程毎に危害分析を実施し、危害防止方法を含む標準作業手順等を作成し、確実に実行すること。
- (2) 機械及び設備の手洗浄について、すべての手洗浄箇所を特定し、危害防止に有効な洗浄が行

われることを確認の上、各洗浄箇所での洗浄作業手順書を作成し、確実に実行すること。

- (3) 工場の再開にあたっては、テスト生産を行った上で施設の拭き取り検査、サンプル製品の微生物検査、全ての工程における乳等の温度及び保持時間の測定等を行い、危害防止方法の有効性を十分に確認すること。
- (4) 操業再開後は、定期的にデータを採り HACCP プランの実効性を検証すること。また、当面1ヶ月間、各工場毎にデータを集積しその結果を基に、HACCP プランについて検証しその結果を報告すること。なお、念のため、製品中のエンテロトキソンの検査を実施すること。
- (5) 雪印乳業(株)本社において、各工場の HACCP プランの実効性を確認できる社内体制を構築すること。また、各工場の HACCP プランについて外部検証を受けること。
- (6) 「調整乳」ライン等総合衛生管理製造過程の承認時の申請書に含まれていなかった部分については、早急に変更届け出を提出すること。
- (7) 日野工場及び新潟工場にあつては、原料バター等を前日から長時間室温で放置する工程を改善すること。
- (8) 高松工場にあつては、「調整乳」の温度管理等を適切に行うとともに、HACCP チームによるチェック機能の強化を図ること。

平成12年8月2日

雪印乳業株式会社

お客様各位

### 弊社市乳工場の操業再開に関するお知らせ

#### 第3報

このたびの、大阪工場低脂肪乳品質事故からの一連の事件に関しまして、お客様には多大なご迷惑をおかけしましたを心よりお詫び申し上げます。

8月2日に実施されました「第3回雪印乳業(株)乳処理施設の現地調査に関する専門評価会議」におきまして、下記の10工場につきまして食品衛生上の重大な問題がなかったことが確認されました。各工場の生産開始予定は次の通りです。

工場名	生産開始予定日
花巻工場	8月6日(日)
仙台工場	8月6日(日)

日野工場	8月7日(月)
新潟工場	8月6日(日)
愛知工場	8月5日(土)
静岡工場	8月6日(日)
北陸工場	8月6日(日)
倉敷工場	8月5日(土)
高松工場	8月7日以降
都城工場	8月6日(日)

※出荷開始は、生産開始日の翌日を予定しております。

平成12年8月3日

雪印乳業株式会社



お客様各位

### 雪印乳業製造工場の安全性確認のご報告

このたびの弊社大阪工場製造の製品による集団食中毒事故では、たいへん多くのお客様に多大な苦しみとご迷惑をおかけする事態を招いてしまいました。ここにあらためまして、深くお詫びを申し上げます。現在私どもは最優先で、今回の事故で被害にあわれた方々にお詫びとお見舞いをさせていただいております。まだ訪問させていただいていない被害者の皆様へも、一日も早くお詫びとお見舞いをさせていただきますよう、全力を尽くして取り組んでまいります。

このほど、以下の点についてご報告できる運びとなりましたので、なにとぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

#### 1、牛乳類20工場の点検を行い、安全性が確認されました。

弊社では今回の事態を深く反省し、もう一度お客様の信頼をいただけますよう、去る7月12日から牛乳類(牛乳、加工乳、乳飲料、ヨーグルトなど)の製造20工場の操業を停止し、製造工程の安全性について自主点検と外部の専門機関による検査を行ってまいりました。さらに、厚生省・専門評価会議より食品衛生上問題がないことをご確認いただきました。

ので、このほどすべての工場で操業を再開することにいたしました。

## 2、牛乳類以外の工場の安全性も再確認されました。

バター、チーズ、マーガリン、一般食品、粉ミルク・ベビーフードなど育児用製品、アイスクリーム、冷凍食品、業務用のバター・チーズなどの工場につきましても、製造工程の安全性確認のための自主点検を行い、さらに保健所により、工場の衛生管理状態について再度ご確認いただきました。また、主要製品については、社外の検査機関により黄色ブドウ球菌毒素のエンテロトキシン検査等を実施し、問題がないことも確認いたしました。

## 3、お客様にお約束いたします。

お客様にご安心していただける企業に生まれ変わるため、次の5項目の実行をお約束いたします。

- (1) 集団食中毒の被害にあわれた方の中で、長期にわたるケアを必要とされる方々のために、お客様ケアセンターを大阪に設置し、企業としての責任を果たしてまいります。
- (2) お客様の声にいつも耳を傾ける企業に生まれ変わるため、フリーダイヤル年中無休体制の確立を目指します。
- (3) さらにお客様にご安心していただくために、「商品安全監査室」を社長直轄組織として新設いたしました。この組織には、社外の専門家にもご参加いただき、弊社品質管理体制の強化を図ります。
- (4) 牛乳類の一旦容器詰めした製品の再利用はいたしません。
- (5) どの工場で作られているかを分かるようにするため、製品に記載されている工場の記号にかえて、牛乳類から順次工場名を表示いたします。

弊社は、7月28日に社長交代をとまなう経営陣の刷新を行い、新しい経営体制をスタートいたしました。新体制のもと、私たちはあらためて原点に立ち返り、『お客様の視点に立ち、考え、行動すること』『安全を提供しつづけること』を基本理念に、全社一丸となってお客様の信頼回復に取り組んでまいります。

平成12年8月6日

雪印乳業株式会社

代表取締役社長 西 紘平

Widespread cases of food poisoning caused recently by products from our Osaka plant have brought untold sufferings to many of our customers, for which we would like to express our deep apology.

We are presently doing our utmost to pay a personal visit to each and every individual affected to express our sincere apologies. For those we have not yet visited to offer our apologies, we are making great efforts to do so as soon as possible.

Conditions at our company have now improved enough to allow us to report on the following points. We cordially ask for your understanding of our efforts.

1. Safety of manufacturing process confirmed as a result of checks at 20 plants

Reflecting deeply on the recent deplorable situation, we suspended from July 12 the operations of all our 20 plants manufacturing fluid milks [liquid milk (regular milk), liquid milk containing recombined milk, milk drinks, fermented milk, etc.] We voluntarily checked the safety of their manufacturing processes and also had inspections carried out by third-party organizations. As a result, we have obtained confirmation from the Ministry of Health and Welfare and a Committee of Specialists that there is no longer any serious problems with manufacturing process in terms of food hygiene. In light of this, we have decided to resume operations at all our plants.

2. Safety of other plants confirmed

Butter, cheese, margarine, powdered milk, baby food, ice cream, frozen food and butter and cheese for business use— for these products, independent organizations conducted spot inspections of other plants and examined toxin-producing bacteria and concluded that the plants were all problem-free in terms of food hygiene. We have also voluntarily double-checked the manufacturing process.

3. To our customers we promise the following

In order to regain the confidence of customers, we promise to carry out the following five steps.

- (1) We establish a specific department, Customer Care Center, in Osaka dedicated to providing suitable care for those affected by the food poisoning.
- (2) We set up a toll-free phone number to allow our customers to reach us to express their comments or concerns 365 days a year.
- (3) To further increase confidence of our customers and to guarantee the quality of our products, we

will establish a Product Safety Inspection Office which will be under the direct supervision of our president. Outside specialists will also participate in the operations of the office.

- (4) We do not recycle fluid milks once packed.
- (5) To indicate clearly where each of our products was made, we display the plant name on each fluid milk product instead of a plant code number. Eventually this system will be applied to all our products.

On July 28, we appointed a new company president and started operations under new management. Under our new management, we will return to our roots and exert company-wide efforts to regain the confidence of our customers. At Snow Brand, our priority is on product safety and customer satisfaction.

August 6,2000

Kohei Nishi,

President of Snow Brand Milk Products Co.

**For inquiries about Snow Brand and its products,  
please call toll-free 0120-369114 (9:00 ~ 17:30)**

8月18日、大阪市環境保健局から弊社大樹工場食中毒事故に関わる大樹工場製造の脱脂粉乳(4月10日製造)の中で大阪府警に押収されたものについての検査結果が発表されました。検査結果は次の通りで、事故原因究明に当り検討事項の一つとされております。

1. 検査結果

・エンテロトキシンA型 4ng/g

(毒素の検出方法：ラテックス凝集反応)

・エンテロトキシン 陽性

(毒素の検出方法：VIDAS STAPH Enterotoxin)

2. この結果を受け、弊社大樹工場は北海道庁並びに帯広保健所の指示に従って当該脱脂粉乳についての緊急調査を受けます。弊社と致しましては、直ちに大樹工場で製造した同一ロットの脱脂粉乳を再度検査するとともに、製造工程等に問題がなかったかを調査致します。また、大樹工場以外の脱脂粉乳のサンプルからは、弊社の検査ではこれまでのところエンテロトキシンは検出されておりませんが、再度自主的に安全の確認を致します。  
なお、原因が究明され次第、その内容につきご報告致します。

お客様各位

今般、弊社大樹工場製造の「脱脂粉乳」からエンテロトキシンが検出された旨、8月18

日発表されましたことにつきまして、大変ご迷惑、ご心配をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

このたびの件は、大阪工場食中毒事故の原因究明を行っている大阪府警察本部の一連の捜査過程で検出されたものであります。現在、大樹工場においては、北海道及び帯広保健所による緊急調査を受けているところであります。弊社としても積極的に協力し結果を真摯に受け止めたいと思っております。

つきましては、お客様にご安心していただくため次の通りお知らせいたします。

1. 大樹工場では「チーズ」（北海道カマンベール・さけるチーズ・スノウブラン・カッテージ等）も製造しておりますが、製造工程が異なり、また脱脂粉乳は一切原料として使用しておりません。
2. 「育児用ミルク」・「ベビーフード」・「スキムミルク」・「アイスクリーム」・「マーガリン」・「冷凍食品」・「一般食品」等には、大樹工場の脱脂粉乳は一切使用いたしておりません。
3. 脱脂粉乳を一部原料に使用する「加工乳」・「飲料」・「ヨーグルト」・「ソフトクリームミックス」・「生クリーム」等はエンテロトキシン検査を実施しており、商品の安全を確認の上、出荷しております。
4. 「バター」・「コンデンスミルク」等前記以外の商品につきましては、脱脂粉乳を原料として使用しておりません。

今後とも、引き続きご愛顧をお願い申し上げます。

平成12年8月21日

雪印乳業株式会社

代表取締役社長 西 紘平

フリーダイヤル 0120-369114

(受付時間 9:00~17:30 土日祭を含む)

お詫言とお知らせ

お客様各位

6月末の、弊社大阪工場食中毒事故におきまして、大変なご迷惑とご心配をおかけ致しましたことを、深くお詫言申し上げます。

事故原因究明を行っている大阪市が、当時、原料として大阪工場で使用した弊社大樹工場4月10日製造の脱脂粉乳から、エンテロトキシンAが検出された旨発表したことを受け、大樹工場の調査を実施した北海道保健福祉部より、大樹工場4月1日製造の脱脂粉乳からもエンテロトキシンAが検出されたと、8月23日発表されました。同時に、帯広保健所より、大樹工場に対して「営業禁止命令」及び「当該脱脂粉乳の回収命令」がありました。

この事態により、大変多くの皆様方に多大なご迷惑、ご心配をおかけしておりますことを重ね重ねお詫言申し上げます。

北海道の調査によると、エンテロトキシンAが産生された推定原因につきましては、

1. 3月31日に、加温工程を経てクリーム分離を行う段階で3時間の停電事故があり、乳が加温されたままの状態です長時間滞留したため、黄色ブドウ球菌が増殖し、エンテロトキシンAが産生されたと思われ、これが廃棄されずに翌4月1日における脱脂粉乳の製造に用いられたこと。  
さらに、同脱脂粉乳が4月10日製造の脱脂粉乳の原料の一部として使用されていたこと。

2. この黄色ブドウ球菌については、殺菌工程において死滅したが、産生されたとと思われるエンテロトキシンAが残存したと。

と、されております。

4月1日及び4月10日大樹工場製造の脱脂粉乳は、全て回収作業が終了しております。

また、4月1日及び4月10日に大樹工場で製造致しました「チーズ」につきましては、家庭用と原料用のいずれもエンテロトキシン検査結果は陰性であり、安全を確認しております。

さらに、今回の「営業禁止命令」は脱脂粉乳を問題として工場全体が処分されたものであり、チーズ製造工程には、問題ないものと受けとめております。

弊社と致しましても、この事実を厳粛に受けとめ、今後、北海道及び帯広保健所のご指導を頂きながら、同工場における衛生管理体制を抜本的に見直す所存でございます。

関東甲信越地域にお住まいのお客様へ（商品回収のお願い）

東北地域にお住まいのお客様へ（商品回収のお願い）

平成12年8月24日

雪印乳業株式会社

フリーダイヤル 0120-369114

（受付時間 9:00～17:30 土日祭を含む）



事故の直接原因究明につきましては、捜査当局に全面的に協力致しております。同時に「大阪工場食中毒事故調査委員会」を社内に設置し、現在、原因を鋭意究明中でございます。

このような事態を招いた根本的原因としましては、安全・安心を確保するための基本の不徹底と深く反省致しております。これは、生産工場運営のマネジメントにかかわる事項であり、事故調査委員会の結論を踏まえ、現場を重視した改革を断行する所存でございます。

また事故発生後の初期動作において、告知・商品回収の遅れなど、お客様の安全を最優先に考える姿勢が欠如したため、本来ならば回避できたはずの多くの方々に苦しみをもたらし、誠に痛恨のきわみでございます。

最終的な再発防止策は、捜査当局による原因究明がなされた時点で検討致しますが、現段階では、以下の5つの対策により安全の確認を致します。

1. 牛乳類の20工場においては、HACCPプランの実効性を検証するために、黄色ブドウ球菌毒素のエンテロトキシン検査を採用致します。
2. 全商品について検査項目を増強致します。
3. 牛乳類の一旦容器詰めした商品の再利用を禁止します。
4. 「商品安全監査室」を社長直轄で設置。学識経験者など第三者の参画も要請します。
5. 第三者のコンサルタント参画による危機管理体制の再構築を図ります。

当面、以上の政策を実行し、『安全を提供しつづける雪印』が認められるよう、全社員一丸となって努力を致します。

このたび、大阪工場製造の商品による集団食中毒事故により、数多くのお客様に大きな苦しみをもたらす事態を招いてしまいました。被害をうけられたお客様及びご家族の皆様に対しまして、誠に申し訳なく、まずもって深くお詫び申し上げます。弊社商品をご愛顧頂いてきたお客様、長年にわたり弊社の牛乳販売にご尽力頂いている販売店主の皆様、お取引先様、原料供給を担っていただいている酪農家の皆様、株主の皆様、及びご指導を頂いております関係当局の皆様はじめ多くの方々に、多大なご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、心よりお詫び申し上げます。また、食品の安全性に対する不信感を蔓延させるような事態を引き起こし、食品業界全体に、ひいては広く国民の皆様にもご迷惑・ご心配をおかけしておりますことを、深くお詫び申し上げます。報道関係者の皆様にも、度重なる不手際で大変ご迷惑をおかけしておりますことを、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

現在私どもは最優先で、被害者の皆様に、誠意をもってお詫びとお見舞いを申し上げております。訪問させて頂いた際には行き届かぬ点が多々ございましたことを、深く反省致しております。現在、いまだ訪問させて頂いていない被害者の皆様へ、一日も早く、お詫びとお見舞いをさせて頂けるよう、全力をあげて取り組む所存でございます。また、今後、長期にわたるケアを必要とされる方々のために、大阪工場食中毒事故にかかわるお客様ケアセンター室を設置し、会社としての責任を果たしていく所存でございます。

なお、酪農家の皆様、販売店様、お取引先様の補償問題につきましては、個々のケースに応じ、誠意をもって対処させて頂く所存でございます。

お客様各位

このたびの弊社関係会社である八ヶ岳雪印牛乳(株)茅野工場の商品回収につきまして、お客様を始め、お取引先様、生産者の皆様、並びに関係各位の皆様にご多大なご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、深くお詫び申し上げます。

8月30日、諏訪保健所より、茅野工場製造の「雪印牧場の朝ヨーグルト」からエンテロトキシンが検出されたため、回収命令が出されたとの報道がありました。

茅野工場で8月14～15日に製造された商品につきましては、ご案内の通り、弊社のエンテロトキシン検査では陰性でありましたが、長野県衛生公害研究所並びに山梨県衛生公害研究所が検査した5個の商品のうち、1つが陽性であったとのことで、当該日付商品の回収命令をお受けいたしました。すでに8月25日の社告でのご案内の通り、当該日付商品は自主回収を続けているところでありますが、ご指導に従い、改めて回収を続けさせて戴きます。

今後、保健所のご指導をいただきながら、原材料や品質の自主検査体制を充実強化し、安全・衛生管理につとめてまいります。このような事態により、多くの方々にご多大なご迷惑・ご心配をおかけしておりますことを、重ね重ねお詫び申し上げます。

回収対象商品はこちらをご覧ください

平成12年8月31日

雪印乳業株式会社

フリーダイヤル 0120-369114

(受付時間 9:00～17:30 土日祭を含む)

お客様各位

この度の弊社大樹工場における脱脂粉乳の品質事故に関しまして、日頃から弊社商品をご使用いただいているお客様の皆様、お取引先様の皆様、そして私どもへ原料供給にご尽力いただいている酪農家の皆様、行政当局の皆様、株主の皆様、報道関係者の皆様はじめ、多くの皆様方に御迷惑とご心配をおかけしましたことにつきまして、誠に申し訳なく、深くお詫び申し上げます。

8月29日の記者会見において、大樹工場製造のエンテロトキシンに汚染された4月10日製造の脱脂粉乳が7月12日製造の脱脂粉乳に加えられ、帯広の営業倉庫に保管されていることが分かり、手捺印した110検体の中から50検体のエンテロトキシン陽性反応の検査結果を申し上げます。

しかし、昨日、6月30日製造の脱脂粉乳にも手捺印のものがありません。現在、更に全容解明に向け調査中ですが、これ以上、皆様にご不安ご迷惑をおかけすることはできませんので、弊社が現在保有する大樹工場製造の脱脂粉乳全量を廃棄することといたします。得意先様への販売はもちろん、社内原料としての使用も一切行わないことにいたします。この処置につきましては貴重な原料乳をご提供いただきました生産者の皆様には大変申し訳ない気持ちで一杯でございます。

また、今後は大樹工場においての脱脂粉乳の製造を行いません。

なお、これまでに大樹工場が製造した脱脂粉乳の全量とその保管場所は確認されて出荷止めいたしております。

ご案内のとおり、大樹工場の脱脂粉乳にエンテロトキシンが産生した原因解明につきましては現在、大阪府警並びに帯広保健所等関係当局のご指導を受けながら進めておりますが、問題の脱脂粉乳の数量と製造日付については弊社として責任を持って調査いたします。

以上、大変ご心配をおかけしましたこと重ねてお詫び申し上げます。

平成12年9月1日

雪印乳業株式会社

フリーダイヤル 0120-369114

(受付時間 9:00～17:30土日祭を含む)